越谷町広報

（定価一部 二円）
編集と発行
埼玉県南埼玉郡
越谷町役場
電話越谷42,517,519,522番

2月（小）如月

日	月	火	水	木	金	土
…	…	…	…	…	…	1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	…

行事

三日 節分
四日 立春（寒明け）
十日 初午
十六日 所得税確定申告（三月十五日まで）
廿六日 二・二六事件廿二周年

本年度予算編成いそぐ

健全な実質的豫算指示

昭和三十三年度の当初予算編成は、目下総務課において各課要求額を検討、その編成をいそいでおります、予算編成方針については、去る廿日町長から各課長に「昭和三十二年度当初予算を基として新規事業はつとめて押え、年次計画にそうた継続事業や緊急の事業を強力に推進し、さらに年々健全財政を堅持する建前からとられてきた一般会計の消費的支出及び特別会計の独立採算制を目標とした経常費などを極力抑制して事業面へ振向けるなど、実質的予算を樹立してもらいたい」と指示しました

勿論当初予算には、年頭にある諸施策など年次計画にそうたつて町長が明示した、郷土越谷町建設を大きく拡大強化する時期としての中学統合問題並びに小学校危険校舎の整備などの文教施策面・上下水道事業、土地改良や都市計画などの産業振興施策面、その他行政各般にわたつた全体予算とするように努力が進められています

予算が計上されるもので、予算全体の収支均衡に支障のないよう、又最大限に町民福祉を増進する施策を実現するよう配意した経常費などを極力抑制して事業面へ振向けるなど、実質的予算を樹立してもらいたい」と指示しました

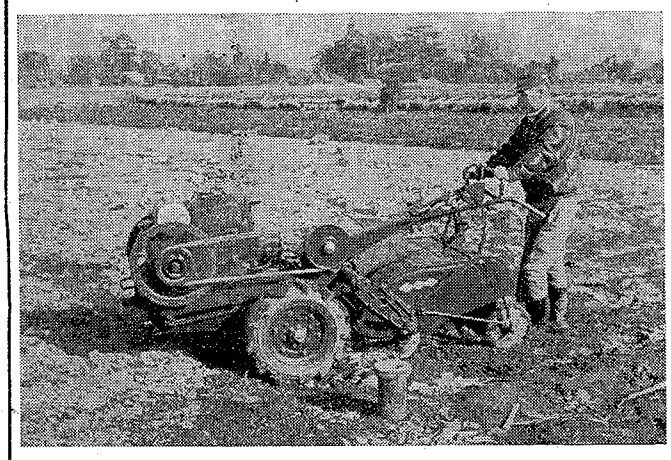
日の日数を費して昨年十月卅一日完成しました、この事業に要した費用は四四万円でそのうち国庫補助が二十万九千円ありました、この施設をすることによつて畑作の経営は高度に改善され、生産を高め、農家の収入が計られ、展示施設としての価値を全地域に普及されることでしょう

二年にわたる

新農村建設事業終る

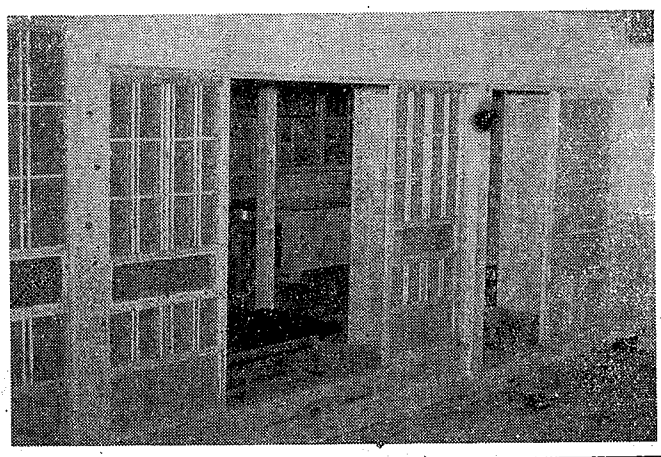
新農村建設の特別助成地域に当町第一地域（荻島、大袋）が指定され卅一、卅二両年度にわけてその事業を進めておりましたが、このほど予定した事業は全部完了しました

第一年度事業は既報の通り水田裏作モデル、耕土培養奨励、農事放送などの施設が完了、残された第二年度事業でありますす畑作経営改善施設、生活改善施設（二カ所）もここに完了し、いよいよ以上のモデル施設をして全地域に新しい村づくりの意慾を高めることになりました、以下三十二年度実施した事業の概要を申し述べてみましょう



畑地灌漑施設をして経営の改善

これは荻島地区小曾川農家組合が、畑作経営を改善しようと団地二町歩にわたり行われたもので、この面積の経営改善に要する機械器具（揚水機、電動機、自動耕転機など）や灌漑施設として井戸四カ所を掘るなどをよく検討し、衛生的に、能率的、経済的に考えて設計がたてられました、この改善費用は根郷の地区で一一万九千円（内国庫補助五万九千円）大竹地区で二二万五千円（内国庫補助一一万二千円）でそれぞれ完成したものです、これによつて特に一家の主婦は労力的に軽減され、明るい生活設計がこの台所から生れ生活水準が一段と高められることでありましょう



畑作経営改善施設

根郷と大竹に二カ所

明るい能率的な台所

生活改善施設

最近農家の台所が逐次改善されつつありますが、まだまだ暗い不経済の台所が多いところから荻島地区根郷農家組合と、大袋地区大竹農家組合が生活改善施設として、明るい便利な経済的台所施設を講じようと生活改善普及員の協力を得てはじめたものです、写真でごらんのように窓の位置、流しの位置、井戸との関係、居間との関係、風呂場などとは直接厚生課とご相談の上お申し込み下さい「写真は去る廿一日上棟なつた蒲生保育所（上棟式は廿一日午後三時から行われました）」

（写真説明）上は小曾川の畑作経営改善施設の自動耕耘機、下は改善された台所

二月一日から

入所希望者受付

上棟なつた蒲生保育所

当町の保育所施設は、すでにご存じのとおり、町委託の大沢、越ケ谷両保育所があり、また只今町ではじめての町立保育所が四月一日開所めざして蒲生に建設中のものもありますが、これらは皆保育対象の子供達の幸福のために児童福祉法にもとづいて運営されるものです、そこで本年四月からこの保育所に入所を希望される方の申込みを、二月一日から十五日まで厚生課において受付をいたしておりますす、次にいくつか入所を希望される方々のために入所要領をかかげてみましょう、こまかいことは直接厚生課とご相談の上お申し込み下さい「写真は去る廿一日上棟なつた蒲生保育所（上棟式は廿一日午後三時から行われました）」

入所や解除は町長が行う

児童福祉法という法律の第二条にも「国及び地方公共団体は児童の保護者とともに、児童を心身ともに健かに育成する責任を負う」と規定されておりますす、このように子供達をより幸福にするための児童福祉施設としての保育所は、当町においても蒲生地区にこのほど新設される公立保育所を含め三カ所がありますわけです、それではこの保育所の運営はどのように行われていますか、次に大要を申しのべてみましょう

一、保育所の入所措置と解除は

保育所に入所する措置や解除は児童の居住する市町村長が行うもので、その入所措置は所定の順位によつて「保育に欠ける」程度の最も高いものから優先的に措置することになつています、しかし保育所には、それぞれ定員がありますので、幼稚園のように誰れもが入所出来るものではありません、この点とくに注意して下さい

二、保育所入所の対象家庭

それではどんな家庭の児童を保育所に入所させるかということですが、これは保護者の労働、又は疾病などの理由で児童の保育に欠けると認められる場合です、即ち家庭が財産の有無をとわずその家庭環境が児童の保育に欠けると認められたときは、所定の順位で収容人員の限度をこえない範囲において入所させることになります

三、児童福祉法にもとづく負担金

児童福祉法に規定されている徴収金については、費用の負担できるものは原則として徴収することになつています、負担金の決定は家族の生活程度、資産状況、収入調書などにもとづいて実態にあつた負担金を決めます、一律に低い徴収を行つた場合、その差額は当然町負担となるのでいろいろ運営面に弊害が生じてきますので、法にもとづく徴収金最高限度九〇〇円をもととして前言した調査資料により審査委員会で慎重審議の上負担金を決め、町長が裁決して毎月徴収するわけです

四、保育所の定員

大沢保育所　七五名
越ケ谷保育所　八〇名
蒲生保育所（新設）　六〇名

五、対象年令

△乳児施設を有する場合は　乳児から学令期に到達するまでのもの
△乳児施設のない場合は　満三才以上学令期に到達するまでのもの

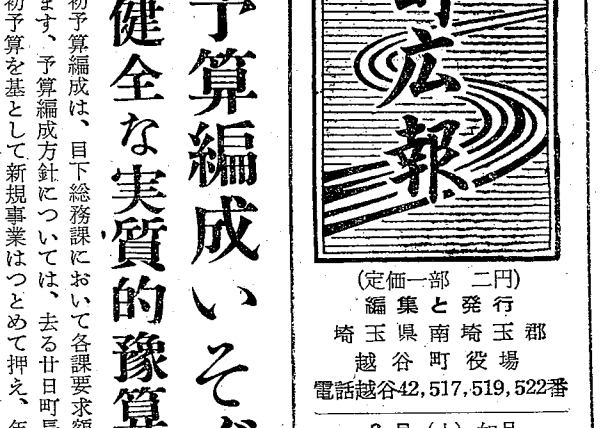
なお特別の事情ある家庭については低学年児童（小一、二）を保育所に入所させることもできます

国保税の完納に御協力下さい

順調な上水道工事

(上) あと60米で井戸掘完了

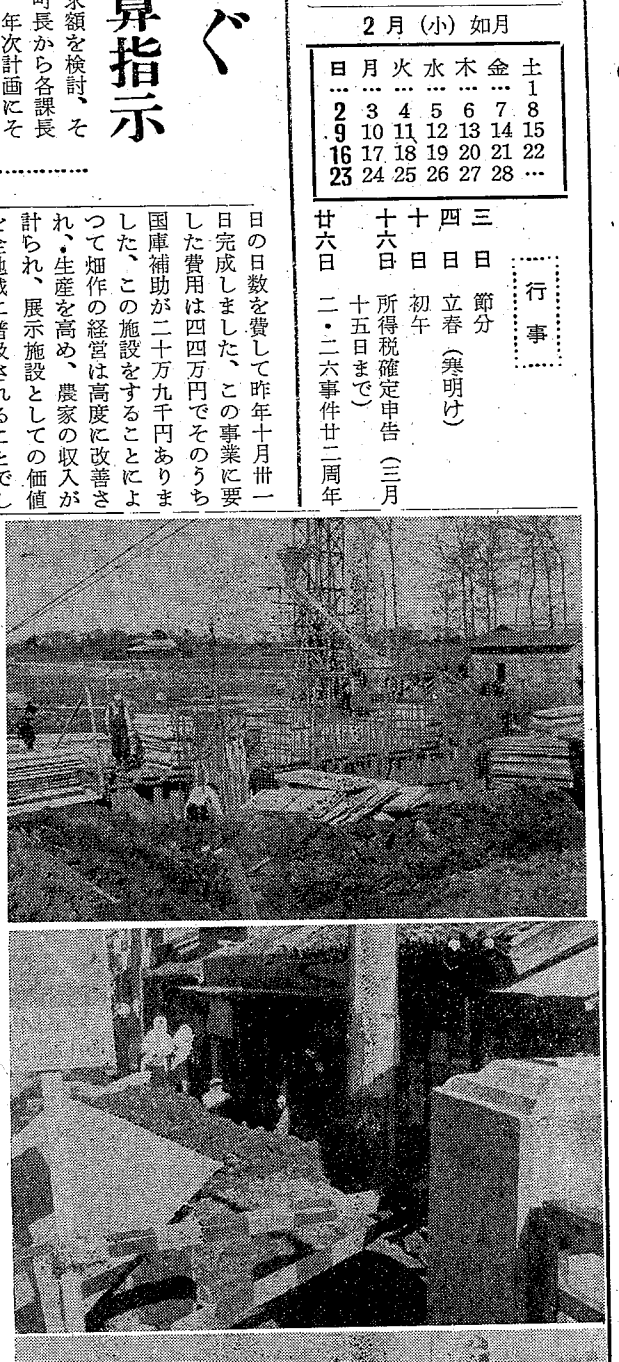
浅野物産の手によつて上水道工事は着々と進められておりますが、井戸はすでに2百米までほり下げ、あと60米で計画の深さまでに到達するところです、一方基礎工事も順調に行われており、現在ポンプ場の杭打ち吸水井の基礎工事が終り、浄水場の掘さく作業が10数人で連日つづけられております



下水道工事進む (中)

大沢一丁目工事中

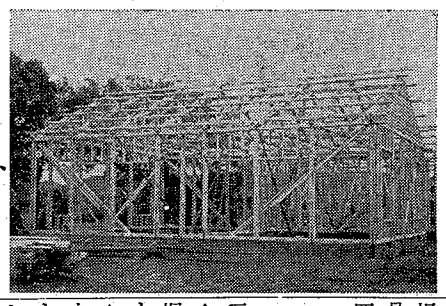
上水道事業と並行して下水道事業も重要であるところから着々その工事をいそいでおりますが、いま大沢一丁目（大沢橋より172米まで）を行つております、この工事がすみ次第越ケ谷新石二丁目（イロハ食堂より40米までは既設、その既設場所よりイサミ質店2、30米先までの172米）の工事も開始する予定をたてております、大沢は県営工事で行い、越ケ谷は地元負担（町）で行うことになつております



橋の工事すすむ (下)

その一　千間堀にかかる恩間新田地内の重要な橋は、今まで2、30米の橋巾なので何かと不便をきたしていたところから、このほど巾員4米、長き11米の拡張工事を工費38万円かけて出来上りました、その橋名もこの地にふさわしい中堀橋と命名しました（写真は中堀橋）

その二　大字登戸地内に総工費22万円をもつて巾員3.50米、長さ 13.80米の木橋が出来上りました、当地には町営の火葬場があるところから葛西用水にかかる火葬場入口の架橋工事が必要と、このほど木橋工事を施工したものです



十二月中の——小売物価調べまとまる

号を追つてお知らせしております小売物価調査十二月分がこのほどまとまりましたので次の通り掲げます（統計係）

小売物価価格表　（単位　円）

品目	単位	金額
精米一	升	一三〇
小麦粉一	貫	二〇〇
食パン一	斤	三〇
いわし百	匁	三〇
さば百	匁	三〇
いか百	匁	四〇
煮干百	匁	七三
牛肉ロース百	匁	二三五
豚肉ロース百	匁	一九五
牛乳一本（一合）		一五
鶏卵百	匁	八一
甘藷一	貫	七〇
馬鈴薯一	貫	八三
ねぎ百	匁	一〇
大根百	匁	欠
玉ねぎ百	匁	二五
ほしのり一〇	枚	七八
豆腐百	匁	一七
油揚百	匁	九五
沢あんづけ百	匁	一六
しょう油一びん2立		一七二
みそ百	匁	二七
砂糖一	斤	五七
食用油一	合	二八
マーガリン一個（二二五瓦）		六〇
ビスケット百	匁	四七
あめ百	匁	六五
りんご百	匁	二〇
清酒一	升	五〇五
番茶百	匁	一〇〇
背広長ずぼん（夏）	一本	欠
背広長ずぼん（冬）	一本	三、〇二五
男子ワイシャツ一枚		四七五
絹地一ヤール		三六五
木棉地一ヤール		八一
毛織物一ヤール		一、三〇〇
毛糸一ポンド		一、五七五
男子くつ下一	足	一三〇
婦人たび（冬）一	足	八七
男子革短くつ一	足	二、二五〇
婦人こまげた一	足	二五〇
木炭一	俵	五八〇
まき一	束	七〇
なべ一	個	二一五
電球一	個	六五
ちり紙百	枚	一三〇
化粧せっけん一	個	三〇
ポマード一	個	九五
ノートブック一	冊	二〇

○第二回紙上互選俳句会の御投句をお急ぎ下さい

○第三十一回月例読書会　二月二十二日（土）午後四時「風媒花」（武田泰淳作、新潮文庫九〇）第二閲覧室、参加御自由

○夜間の館外図書貸出は一月二十一日から午後八時半限りとなりました

○越谷在住の身体障害者、母子家族、生活保護を受けている方は証書と印鑑を御持参下されば直ぐ館外貸出をします、此の場合一般利用者と同様住民票の提出が必要ですが、これは当館の方で無料で手続しますから御心配無くどしどしご利用下さい、ごく一部の利用者ですが館外貸出日限を無視して返本を法外に遅らせたり、無断図書持出をしたりする非協力者のあることは遺憾です、皆さんの図書館ですから大いに利用して頂くと共に御協力下さるよう御願いします

○普通は館外貸出禁止となつている学習受験参考書等も要望に応えて当分の内短日限で貸出しています

○研究調査等の必要上標準より長い日限の館外貸出の御希望に応じています

○近着主要図書案内（続き）（英米続き）荒野の呼び声、ヘミングウエイ短編集（アメリカ文学選集中）世界を変えた本、（独）ヘルマンヘツセ全集四冊（仏）わたしはママが大好き、真昼の悪魔上下、リラの門、踊れかわいい乙女たち、追放、ヴイナスを追うもの、パリモードの秘密、（ソ連その他）靴をぬいだ小娘

○備付新聞雑誌案内　日刊朝日、毎日、読売、読書新聞、アサヒイブニングニュース、埼玉日報　週刊朝日、サンデー毎日、週刊読売　世界、婦人公論、新潮、文芸春秋、日本、自然、リーダースダイジエスト、日本週報、螢雪時代、ユースコンパニオン

なお週刊誌類及び雑誌は最近刊を除いて登録者に館外貸出しています（一般図書とは別に）から御利用下さい。

一月の農作業

越谷地区農業改良普及所

一、麥の管理

この時期の麦の管理は麦踏みと土入れですが、麦踏みは幼穂形成期以後は行わないこと、その時期は大麦は二月下旬まで小麦は三月上旬までです、土入れは無効分けつを防止すると共に、株を開いて茎を健全にし、倒伏を防止する目的で行う作業であるから麦の生育と合せて十分行うよう努めて下さい

二、トンネル栽培用果菜類の育苗

すでにトンネル栽培用の果菜類の育苗は始めたものがあると思いますが、早期出荷をねらうあまり早期育苗にすぎないように品種の特性、トンネル資材の問題、定植の時期、定植圃の環境、労力など十分考えて育苗に当ると共に、前々計画を立てて十分準備をして頂きたいと思います

三、そ菜畑の土壌管理

秋野菜（山東菜、白菜）の後地は春野菜、又は果菜類の作付が計画されていると思いますが近年この地帯の畑地の地力は年年減退し施肥量の増加と共に病害虫の発生が多くなつて来たように思われますので、この冬期間において、畑地の土壌管理として、深耕と堆肥及び石灰質肥料を施して地力の培養に努めて下さい

四、稻作増産計画

稲作については、時期がまだ早いとしても、今の中に昨年の作の反省と今年の目標を部落研究会などを開催して、ぢつくり計画を樹てておくべきです

特に昨年の被害地は被害の原因を良く研究して二度と失敗をくり返えさないよう地力の培養、施肥改善、病害虫防除の問題など三十三年度の稲作に万全を期されるようにお願いいたします

三月十五日まで受付

増築資金貸付の申込

昭和三十二年度第二回増築融資の受付

住宅金融公庫では、昭和三十二年度（第二回）の増築資金貸付について、次の要領で申込を受付けています

一、申込受付期間

昭和三十三年一月十六日から三月十五日まで常時受付とする但し申込金額が予算額に達したときは期間中でも申込を締切ることがあります

二、申込受付場所

1、埼玉銀行本店、川口支店、大宮支店、川越支店、行田支店、秩父支店

2、埼玉県信用金庫本店（熊谷市）蒲和支店

3、武蔵野銀行本店（大宮市）

4、川口信用金庫

但し、公庫融資住宅についての増築は、既融資分の償還金を取扱つている金融機関へ申込むこと

三、貸付の条件

1、融資面積　二坪以上九坪未満（九坪を含まない）

2、貸付金額　増築する住宅部分の標準建設費の七割相当額以内、模様替による増築の場合は標準建設費の三割五分

3、利率　年五分五厘

4、貸付期間　当初の償還元利金が一カ月三、〇〇〇円前後になるようにきめた期間（二年～十二年）

5、償還方法　毎二カ月払（元金均等）

四、貸付のできる増築

次の各号の条件を具えた住宅部分の増築に貸付けます

1、既存住宅のある敷地内に増築し、増築によつて住宅部分（居室、押入、床間、台所、納戸、廊下等）の床面積を増加するもの

2、既存住宅の住宅部分の延坪数を含めて増築後の一戸当りの住宅部分の総延坪数が九坪以上三十六坪以下であるもの

但し、公庫融資住宅に増築する場合は、建築後一年以上を経過したものであり、且つ、増築の融資坪数が前回の既融資坪数（最初の貸付額に対し償還をした額に相当する融資坪数を既融資坪数から減ずることができる）と合せて二十坪を超えないことが必要です

五、貸付を受けることのできる人

自分（又は本人の父、母、配偶者、子）の所有する既存住宅について、自ら居住するため増築を必要とする人で、次の各号の条件が必要です

1、公庫から資金の貸付を受けなければ増築できない人

2、増築に必要な自己資金（頭金）を有し月収が毎月払に計算した最初の償還元利金の七倍以上ある人

但し、公庫の融資住宅に増築する場合は、増築貸付の最初の償還金と既存の融資住宅分のその月の償還金との合計額の六倍以上の月収とします

3、前記2の基準以上の月収がある確実な連帯保証人一人以上があり且つ、担保の必要があれば、増築に係る住宅など適当な不動産を担保として提供できる人

六、申込手続、貸付予定者の選定

1、申込に必要な書類や手続などについては前記の受付場所へお問合せ下さい

2、申込受付順に申込内容などを審査して、設計審査申請の手続をする人を決め、設計審査合格後は直ちに着工できるようになつています。

（建築課）

農村二、三男の産業開発青年隊員募集中

埼玉県では昭和三十三年度（第五回）の産業開発青年隊員を次の要領で募集します、この産業開発青年隊は、国土総合開発事業や海外（南米）の建設事業に従事する技能者を養成するところで、農村の二、三男をはじめこれを希望する青年の自発的参加によつて、一年間キャンプにより、社会人としての一般教育技能教育を実施するもので、現在全国で十五県に設置されています

○…募集人員、建設機械科、測料施工科あわせて三〇名

○…受験資格、十八才から廿四才までの身体強健な未婚男子で新制中学卒業以上の学力ある者

○…願書提出期限、三月二十日

○…試験、三月廿七日朝九時から坂戸町関間新田一八三産業開発青年隊キャンプで筆記試験（国語、算数、作文）と面接試験

○…申込方法、参加申込書（県庁三階の企画課にあります）を企画課内埼玉県産業開発青年協会あて送料（十円切手）を同封して申込むこと、なお一年間合宿して昼間働き夜間は専門的技能教育を実施してできる限りの就職あつせんにつとめています、第四回までの修了者の就職率は百％です

あちら——こちら——

お父さん、お母さんに成人講座開く

日頃農家では農事に忙しく、みづから勉強しようという機会のないところから、特にお父さん、お母さんのために、出羽小中PTA公民館、婦人会が共催して、去る廿二日小学校で成人講座を開きました、参加者は約百名で、講師に県教育委員持田氏を迎え、教えざる教育という題で約二時間にわたつて講義が行われまして、お父さん、お母さんもこの一日は生徒にかえつて熱心に受講しておりました

出羽中PTAで校庭埋立作業奉仕

出羽中校庭敷地内にある水田と池約五〇〇坪を埋立して校庭を拡張しようと、出羽中PTAでは（会長宇田川清造氏）自主的に労力の奉仕を申し出でわが子のために去る廿三日から埋立をはじめました、埋立に要する土は、土地改良事業で廃道になつたものをリヤカーで運搬、約六百人の父兄が全力をあげて埋立作業を行つています、学校当局もこの行為に感謝し、生徒や先生方も応援しています（写真は埋立作業）

荻島青年学級で冬期講座開設

荻島青年学級では働く青年のために冬期教養講座を去る十八日から開設すでに二回を重ねましたが、これから次の通り冬期講座が開かれます

△二月七日（金）午後一～三時　中学校において交通法規（講師越谷警察署係官）

△二月十五日（土）午後一～四時　公民館において生活改善並に座談会、民謡「越ケ谷音頭」（講師石井節子氏）

△二月廿一、廿二日午後一～三時　中学校において農業講座（講師中島普及員）

△二月廿二日午後一～四時　公民館において料理講習（講師山崎普及員）

△二月廿八日午後一～四時　公民館において講話「農業協同組合について」（講師松永組合長）終つて閉講式

なお以上の外に珠算、ペン習字も行い実際生活に役立つようにしており、又青年学級に望むこと意見、感想文、落書なんでも結構の回覧ノートをつくり、部落毎に団員に回覧して資料を集めております

一月一日の人口 47,897人

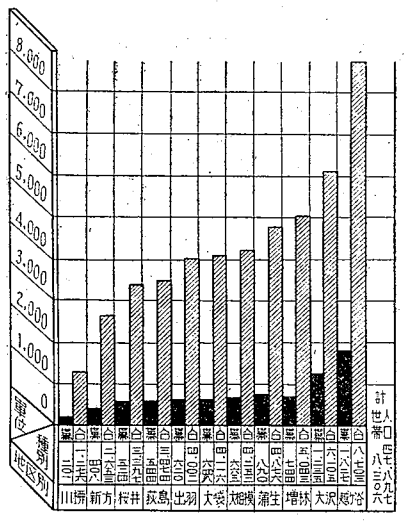
1年間に547人増

越谷町の人口は本年1月1日現在で47,897人なりました、昨年1年間で、男が309人、女238人の計 547人が増となつております、このように年々約6百人の増を示しておるところからして市制施行の第一条件である5万人も、これから4年後には到達することになります、それでは次に地区別人口を図表で示してみましょう

地区別住民登録人口調べ

(33. 1. 1 現在)

なお昭和32年度中における自然的人口動態をみましても、出生数1,030人に対して死亡は54人となつており、したがつて自然増は476人でありました



越警だより

犯罪予防標語入選発表

越谷警察署と越谷防犯協力会がさきに募集した犯罪予防標語は多数の応募がありましたが、審査の結果左記の方が入選しました

一位　大沢　石田　勇
防犯にみんなで協力明るい越谷

二位　越ケ谷　中野谷島子
戸締りと錠は見るくせかけるくせ

三位　越ケ谷　早山　征夫
防犯にわたしもひと役るすい番

三位　越ケ谷　鈴木　光雄
もう一度ただして見よう錠と人

佳作　越ケ谷　松本　征子
防犯はひとりひとりの心がけ

佳作　平方　須中　年子
心に防犯明るい毎日

火の用心